

令和4年度 青森市子ども会議 事前顔合わせ会

- 1 日 時 令和4年4月23日（土）9時30分～12時30分
- 2 場 所 青森市役所 議会棟4階 第1・第2委員会室
- 3 出席者 会場参加：子ども会議委員13名、子どもサポーター5名、事務局3名
オンライン参加：子ども会議委員4名
- 4 活動内容 (1) 青森市子ども会議について
(2) 子どもの権利に関する講義
(3) 令和4年度活動テーマについて

5 開催概要

青森市子ども会議は、青森市子どもの権利条例第14条に基づき、まちづくりをはじめとした市政などについて、子どもが意見を表明し参加する場として設置され、小学5年生から原則18歳までの子どもたちで構成されています。

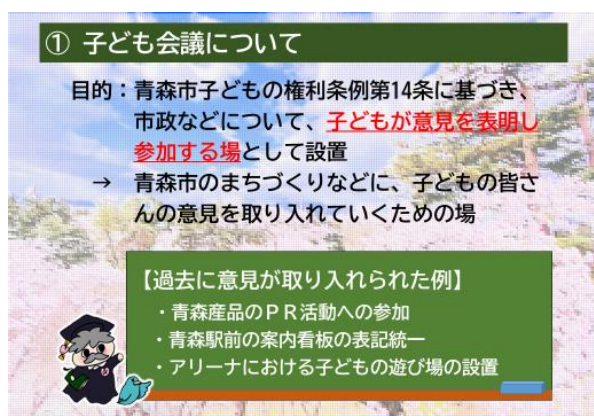
今年度は、子ども会議委員24名（小学生9名、中学生6名、高校生9名）と、子どもたちの活動をサポートする子どもサポーター7名（学生4名、社会人3名）で活動をスタートしました。

子ども会議では学年や学校を越えたメンバーで、いろいろな活動を通じた学習や体験ができるほか、子どもの権利についても深く学ぶことができます。

なお、今年度も新型コロナウイルス感染症対策のため、会場参加に加え、オンラインも活用した事前顔合わせ会となりました。

青森市子ども会議について

はじめに、事務局から青森市子ども会議について説明がありました。青森市子ども会議では主に、青森市のまちづくりなどについて調査したり、子どもの権利について学び、みんなにも知ってもらうための活動を行ったりしています。令和3年度は、Instagramを活用した青森市の魅力発信や奈良市とのオンライン交流会を行ったそうです。これまでに子ども会議で提案した意見が青森市のまちづくりに実際に取り入れられた例も紹介してもらい、やる気が湧いてきました。



子どもの権利に関する講義

次に、子どもの権利擁護委員の関谷道夫先生から、初めて顔を合わせた子ども会議委員同士が仲良くなるきっかけとして、アイスブレイクも含めた子どもの権利に関する講義をしてもらいました。

アイスブレイクでは、ペアになった人の素敵だと思ったところをすぐに見つけて3つ言い合う「いいところ探しゲーム」のほかに「最近あった良かったこと」、「今一番大切な人」、「自分の強み」、「人生の中で一番つらかったこと、それをどう乗り越えたか」などさまざまな質問に答えて、全員で拍手をする「Good&New（グッドアンドニュー）」などを行いました。

初体面の人が多く最初はとても緊張していましたが、アイスブレイクを通じてみんなと打ち解けることができ、緊張もほぐれました。



令和4年度活動テーマについて

最後に今年度の活動についてみんなで話し合いました。まず、自己紹介と合わせて、青森市の好きどころや今年度の活動でやってみたいことなどについて一人ずつ発表しました。

〈青森市の好きどころ・興味のあること〉

- ・自然が豊かで美味しいものがたくさん
- ・りんごや海産物など美味しい食べ物
- ・災害が少ない
- ・水が美味しい
- ・ねぶた祭
- ・縄文時代以外の青森市の歴史
- ・三内丸山遺跡などの世界文化遺産
- ・油川や浪岡などの歴史
- ・青森県立美術館(あおもり犬)
- ・SDGs

〈今年度の活動でやってみたいこと〉

- ・雪国ならではの雪の活用
- ・青森のお土産紹介
- ・穴場スポットの紹介
- ・市内の地域ごとの調査
- ・雪中行軍を知って欲しい
- ・神社やお寺特集
- ・青森県防災教育センター
- ・おすすめの本紹介

次に高校3年生のベテラン委員の進行のもと、出された意見をジャンルごとに分ける作業を行いました。ジャンル分けすると、「食料」「自然」「歴史」「地域」「建物・施設」「その他」の6つになり、この中から今年度活動したいこととして1人3つずつ選んでもらったところ、多い順に「地域」「自然」「歴史」となりました。

今年度は、主にこれら3つのジャンルに関わる活動を行っていきたいと思います。



次回の会議では、今年度の活動についてもっと詳しく話し合い、第1回会議での市長報告に向けた準備を行います。